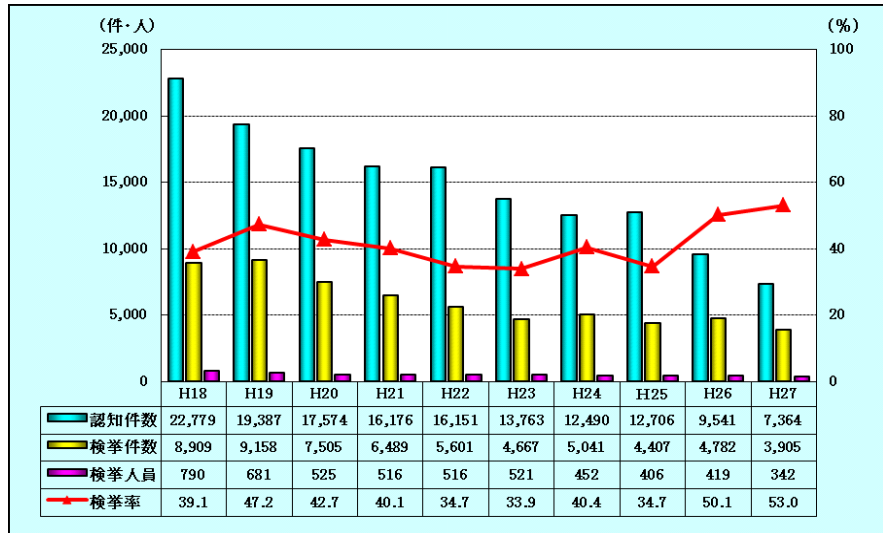


平成 27 年政策評価書

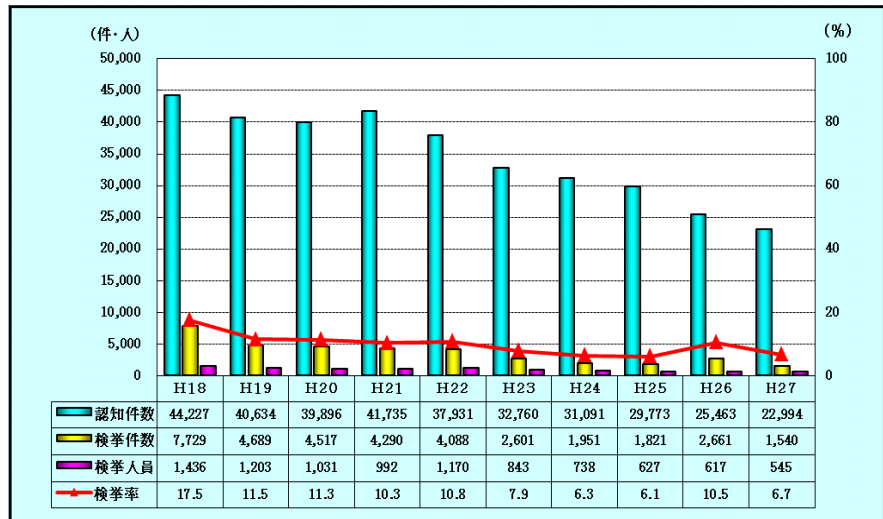
千葉県警察活動方針	安全で安心できる県民生活の確保																
施策	県民の生活を脅かす犯罪の徹底検挙																
施策目標	重要窃盗犯及び連続的に発生する窃盗犯捜査の推進																
施策設定の背景	重要窃盗犯（侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり）及び連続的に発生する窃盗犯（車上ねらい、部品ねらい、オートバイ盗、自転車盗）の発生件数は、全国的に見て高水準で推移しており、県民生活を脅かす要因となっていることから、安全で安心できる県民生活を確保するため、これら窃盗犯人の検挙に向けた諸対策を推進する必要があります。																
実施項目 1	的確な発生実態の分析																
推進結果 1	発生地域、時間帯などを綿密に分析し、効率的な検挙活動を実施しました。																
実施項目 2	合同・共同捜査の推進																
推進結果 2	広域的、組織的な事件に対し、積極的な合同・共同捜査を実施しました。																
実施項目 3	各種装備資機材の有効かつ積極的な活用																
推進結果 3	各種装備資機材を有効に活用した検挙活動に努めました。																
実績（成果）	<p>○ 平成 27 年中の数値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>重要窃盗犯</th> <th>連続的に発生する窃盗犯</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知件数(件)</td> <td>7, 364 (-2, 177)</td> <td>22, 994 (-2, 469)</td> </tr> <tr> <td>検挙件数(件)</td> <td>3, 905 (-877)</td> <td>1, 540 (-1, 121)</td> </tr> <tr> <td>検挙人員(人)</td> <td>342 (-77)</td> <td>545 (-72)</td> </tr> <tr> <td>検挙率(%)</td> <td>53.0 (+2.9)</td> <td>6.7 (-3.8)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ ( ) 内の数字は対前年比の数値</p>			重要窃盗犯	連続的に発生する窃盗犯	認知件数(件)	7, 364 (-2, 177)	22, 994 (-2, 469)	検挙件数(件)	3, 905 (-877)	1, 540 (-1, 121)	検挙人員(人)	342 (-77)	545 (-72)	検挙率(%)	53.0 (+2.9)	6.7 (-3.8)
	重要窃盗犯	連続的に発生する窃盗犯															
認知件数(件)	7, 364 (-2, 177)	22, 994 (-2, 469)															
検挙件数(件)	3, 905 (-877)	1, 540 (-1, 121)															
検挙人員(人)	342 (-77)	545 (-72)															
検挙率(%)	53.0 (+2.9)	6.7 (-3.8)															

実績（成果）指標

【重要窃盗犯の検挙人員及び検挙件数（千葉県）】

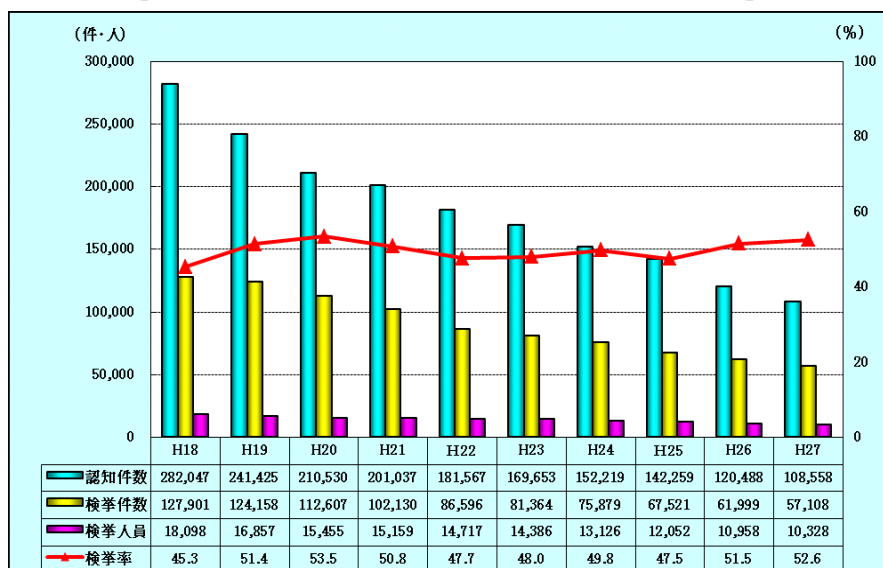


【連続的に発生する窃盗犯の検挙人員及び検挙件数（千葉県）】

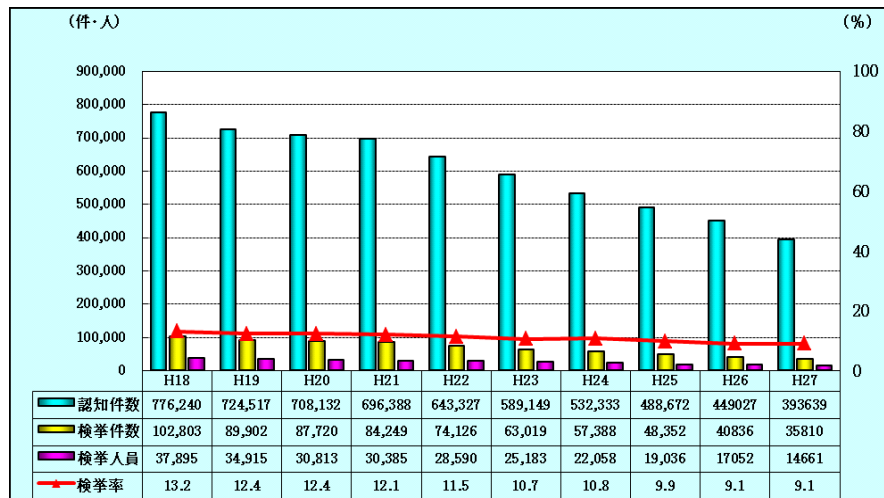


参 考 指 標

【重要窃盗犯の検挙人員及び検挙件数（全国）】



【連続的に発生する窃盗犯の検挙人員及び検挙件数（全国）】



効

果

重要窃盗犯の認知件数は、前年と比べて20パーセント以上減少し、検挙率は、53パーセントで前年と比べて上昇しました。  
一方で連続的に発生する窃盗犯の認知件数は、前年と比べて約10パーセント減少しましたが、検挙件数も減少し、検挙率は6.7パーセントで前年と比べて低下しました。

今後の課題  
及び方針

犯行手口は、社会情勢の変化等により悪質かつ巧妙化することから、引き続き徹底した分析を行う必要があります。  
安全で安心できる県民生活を確保するために、新たな犯行手口に即座に対応できる体制を構築するとともに、一人でも多くの窃盗犯被疑者を検挙するため、諸対策を推進していきます。

施策主管課  
政策評価担当課

刑事部捜査第三課  
刑事部刑事総務課